

「ふれあいの里山」復活大作戦



日時	2014年 2月 1日(土) 10時 00分~15時 00分	
場所	金ヶ崎公園	
参加者	エコウイング会員/6名、事務局/1名	計 7名

● 午前

今日は、若く元気な明石高専の先生・学生の皆さんが期末テスト前のため参加されず、7名のメンバーでの活動になりました。

いつものとおり、まず最初に川島さんからエコウイングあかしからの報告事項や、今後のイベントの予定などについて、説明がありました。

その後、公園の一番奥の水源池まわりで、周囲の私有地から侵入してきているマダケの徐伐をしました。今日は気温も上がり風も吹かず、作業をしていると汗をかきました。昼前にはマダケは全部姿を消し、すっきりした景色になりました。

● 午後

午後は、これまでに整備した散策路を一巡して、区間の途中に設置していた丸太のベンチを再整備したり、枯れ木の徐伐や固定が不十分な階段の補修をしたり、外周路の横のサクラの木に絡み付いているカクレミノの伐採などをしました。定刻の午後3時に作業を終え、達成感と軽い疲労感を味わいながら、帰路に就きました。

マダケの伐採作業風景(その1)



同 (その2)



<Before>

作業前の資源池。マダケが何本も生えていました。



<After>

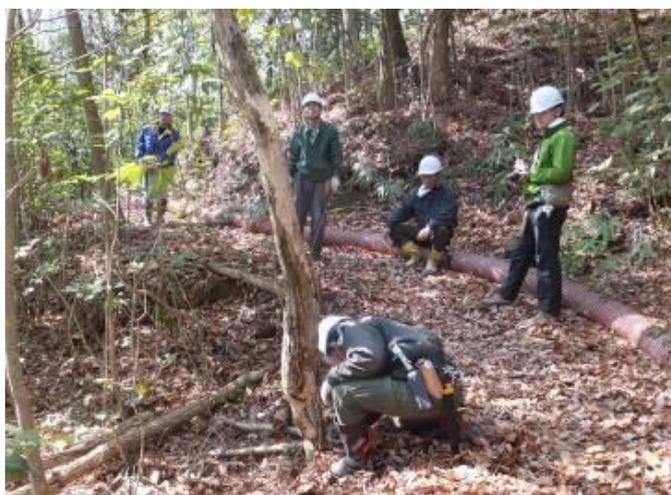
伐採作業を終え、マダケが消えてスッキリした水源池



散策路横のベンチのベンチの整備



散策路横の枯れ木の徐伐作業



サクラの木に絡んだ木の徐伐



徐伐したカクレミノの片付け作業



● 次回 : 2014年 3月 1日(土) 10:00から 定例活動。

次回の活動日には、平成26年度のエコウイングあかし自然グループの活動計画についての検討も予定しています。今後の活動の方針や、色々なイベントの開催などのアイデアについて、ご提案をお願いします。

3月に入って、春の便りも楽しめると思います。たくさんの皆様のご参加をお待ちします。

MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その1)

2月に入り、本来は1年で一番寒い時期ですが、今日の金ヶ崎公園は気温が上がり春本番を思わせる暖かさでした。ふもとの北浦池では、カイツブリ、マガモ、カワウ、コサギ、アオサギそれに少し珍しいミコアイサの姿を観察しました。そのほかの野鳥では、ジョウビタキ、ハシブトガラス、ヒヨドリ、エナガ、メジロ、シロハラ、コゲラ、キジバト、ウグイスを確認しました。

北浦池には珍しいミコアイサ(オス)



サザンカの花の蜜を吸いに来たメジロ



カイツブリ



コサギ



アオサギ



ウグイス



ジョウビタキ(オス)



シロハラ



今年の冬は、全体に冬鳥が少ないようで、金ヶ崎公園では冬の常連のツグミやルリビタキの姿をまだ見ていません。これから春に向かって、南の方に行っている冬鳥たちが戻ってくるのを期待したいと思います。

MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その2)

この時期は寒さが厳しくて、普通は昆虫はほとんど姿を見せないのですが、今日は季節はずれの暖かさだったためか、陽気に誘われてキチョウやバッタの仲間(クサキリと思われます)が出てきました。それから、最近あまり見かけなくなったミノムシも観察できました。

植物では、花を咲かせているものはあまり見当たりませんでした。春の花のヒメオドリコソウやふもとの北浦池の近くでは紅梅が咲き始めていました。また、ヤブコウジの赤い実とジャノヒゲの青い実がつややかに光っていました。散策路の近くには、先月に続いて見た目においしいそうなキノコも見つけましたが、毒キノコかどうか分からないので、手を付けませんでした。

暖かさに誘われ出てきたキチョウ



バッタの仲間(クサキリ?)



ミノムシ



咲き始めていたヒメオドリコソウ



北浦池の近くの紅梅



おいしいそうなキノコ



ヤブコウジの赤い実



ジャノヒゲの青い実

